

議員提出条例

「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例」を制定しました

条例制定の経緯と目的

県議会では、昨年5月に特別委員会を設置し、障がい者差別の解消をめざす条例策定の必要性も含めた調査・検討を行ってきました。条例策定の必要性が確認できたことから、同委員会では、約1年間の検討を経て、条例案を取りまとめました。この条例案は、本年6月29日の本会議において、全会一致で可決・成立しました。

この条例は、全ての県民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会（共生社会）を実現するため、共生社会の実現に向けた施策を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。

条例では、共生社会を実現する上での基本理念、県の責務や事業者・県民の役割、障がいを理由とする差別の禁止や差別解消のための体制、障がい者の自立・社会参加の支援などを規定しています。



特に、差別解消のための体制の整備については、障がい者やそのご家族、事業者などが差別事案について相談できるよう、県に相談員を設置することや、相談を経ても解決が困難な事案について、知事に助言・あっせん申立てをすることができることにしています。

また、障がい者が参画する協議会等の組織を活用して、障がいを理由とする差別を解消するための取り組みを推進することとしています。



条例の施行については、周知期間等を考慮して、平成30年10月1日からとしています。ただし、条例の施行に向けた準備に関する規定等は平成30年6月29日から、相談員の設置や紛争解決を図る体制の整備に関する規定等は平成31年4月1日に施行することとしています。

「三重県議会基本条例」の一部を改正しました

県議会では、昨年6月、議会改革の取り組みの一環として、「制定から10年を経過した議会基本条例について、今の時代に見合った条例改正の必要性」を検討することとし、同年9月から、議会改革推進会議内に設置された検討プロジェクト会議において、具体的な検討を進めてきました。

検討の結果、近年の大規模な災害等の発生状況等に鑑みると、

「大規模な災害その他の緊急事態への対応」に関する規定を議会基本条例に盛り込む必要があるとの結論に至り、パブリックコメントを経て、同条例の一部改正案を取りまとめました。

この条例改正案は、本年6月4日に、議員提出条例案として本会議に上程され、同年6月11日、全会一致で可決・成立しました。



検討プロジェクト会議の様子

みえ現場 de 県議会

「みえ現場 de 県議会」について紹介します!

三重県議会では多様な意見を聞き、県議会での議論に反映するため、テーマを設定し、県民の皆さんから直接意見を聞く「みえ現場 de 県議会」を平成22年度から開催しています。

平成30年1月に開催した「みえ現場 de 県議会」でいただいた意見を紹介します。

テーマ: 観光・交流の推進 ～地域の観光資源が光輝く未来へ～

開催概要

平成30年1月22日(月)に鳥羽市で「観光・交流の推進～地域の観光資源が光輝く未来へ～」をテーマに、みえ現場 de 県議会を開催しました。地域の観光資源を生かしながら観光・交流を推進していく上での課題や県に期待すること等に関するご意見をいただきました。

参加者

- 地域の観光資源や観光推進に関わっている方 3人
- 一般公募 4人
- 県議会議員 13人 (正副議長、広聴広報会議委員、総務地域連携常任委員長、戦略企画雇用経済常任委員長、環境生活農林水産常任委員長)



参加者からの意見

現状と課題

- 公共交通機関があまり充実していないので、移動するのが難しい。
- 伊勢志摩の資源は非常に限られており、多くの人に来られても困るところもある。持続可能ということを観光で考えていけないといけない。
- 観光PRIについて、インスタグラムやフェイスブック、ブログなどに力を入れて広げた方が今の時代に合っているのではないかな。
- 看板の設置は景観が損なわれるので、あまり目立ったような看板はできないというのが現状である。

提案など

- 外国人の方にも理解できる色や数字といったもので、ある程度の場所がわかるような統一的な仕組みができないか。
- 地元の人たちが何よりの観光資源ではないかと思う。自分の地域をより好きに、大事に思っている人がもっと多くなれば良いと思う。
- 三重県にはキラキラしたものがいっぱいある。地元の人にもそれに気づかないといけないし、来ていただいた方も本当だと共感するには、気づくことが大事になる。日頃から自分の町を見て気づくという気持ちを少しずつみんなが共有できるような町になっていけたらと思う。



参加者からいただいたご意見は、所管の委員会で議論するなど議会として、県政への反映につながるよう取り組んでいきます。